

支え合って生きていくということ

私はボブ・ウィーランドさんとはとてもすごい人だと思いました。何かに挑戦し続けることは簡単なことではありません。ボブさんは戦争で足をなくしても、少しでも自分と同じような人たちの支えになれるようになにかをしたいと思い、それをやるという精神がすごいと思いました。

私が思うに、本当に強い人は、ただ泣かない人や自分の弱みを周りに見せない人ではなく、自分の弱みを周りに見せて、たとえ一度逃げたとしてもそこから這い上がって努力することができない人だと思います。人が強くなるには、周りの支えが必要であり、その人がまた誰かの支えになるということだと思います。

私は今までいろいろな人たちに支えられてきました。これからの人生でまだまだ多くの人たちに出会うので、私も誰かの支えになれるような人になりたいです。

(一年)

○私の生きがい

みんなの笑顔

私の生きがいは大切な人の喜びです。その時によって自分の大切な人は変わってくるのかと思いますが、今、私の大切な人は、家族、友達、そして、本当に自分も楽しいし共感できる、私がマネージャーをさせてもらっている男子バスケットボール部のみんなです。今の一番の自分の支えになっているのではないかなと思います。

初めはそんなふうに思ってはいませんでしたが、一緒にいるにつれて、いつも何気なく気遣ってくれ、楽しませてくれ、今では本当に大好きです。選手に嬉しいことがあった時、私も嬉しくなるし、悲しいことがあった時、私も悲しくなる。練習後に、私が作ったおにぎりを食べて、「美味い！」と笑顔を向けられた時、「ありがとう」や「がんばれ」「がんばろう」と言われた時に、私は一番生きがいを感じます。

相手がどう思っているかはわからないけれど、「ああ自分はこの部活に入るためにここに来たんじゃないか」と思うくらいです。自分の明るさ、大切な人を喜ばせたいという気持ち、いろんな経験に打ち勝って育てられた心。全てを發揮できる場所が男バス。そして、その場所で選手を支え、選手の喜ぶところを見るのが自分の生きがいです。

(一年)